

平成27年度学校経営計画表

【別紙様式1】

1 学校の現況

学校番号	3 2		学校名	県立大洗高等学校				課程	全日制		学校長名	澤 畑 保 男				
教頭名	小 沼 浩 幸										事務(室)長名	片 見 祐 司				
教職員数	教諭	2 8	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	4 1
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		3 5	2 1	2 3	2 5	1 9	2 2			7 7	6 8	6			
	普通科(音楽コース)		1 2	1 8	8	1 6	9	1 2			2 9	4 6	3			

2 目指す学校像

生徒一人一人の自主・自立の精神を確立し、社会人として必要な知識と教養を習得し、地域社会の要望に応えられる豊かな人間性と人格の形成を目指す。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒は、全体的に落ち着いた授業に臨み、学習活動に取り組んでいっている。26年度は、国の立憲教育政策研究の委嘱を受け、改善の取り組みを進めている。教職員の活動は、各教科等の学習指導目標を評価し、指導の充実を図っている。音楽科では、全国募集により学習意欲等の高い生徒が入学し、26年度卒業生に比べて、進路決定率100%を達成している。求人数は増加しているが、求人不足が課題となっている。推薦入試、AO入試での合格者が大半を占めている。生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。	指導者の一人ひとりの指導力、指導の充実を図る。生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。
進路指導	26年度卒業生に比べて、進路決定率100%を達成している。求人数は増加しているが、求人不足が課題となっている。推薦入試、AO入試での合格者が大半を占めている。生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。	進路指導の充実を図る。生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。
生徒指導	生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。	生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。
特別活動	生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。	生徒の生活面では、全体的に落ち着いた生活を送っている。生徒の理解を深め、指導の充実を図っている。

4 中期的目標

1	基本的生活習慣の確立及び規範意識の高揚を図る。
2	学習意欲を高め、基礎学力の定着を図る。
3	生徒一人一人の資質・特性にあったキャリア教育を推進する。
4	特別活動、部活動の充実を図る。
5	地域との連携を深め、地域に開かれた学校づくりを推進する。
6	学校の実情、生徒の実態に応じた指導体制の構築を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 基本的生活習慣の確立及び規範意識の高揚を図る。	①規則正しい生活習慣を確立させ、高校生らしい服装・頭髪，身だしなみを身に付けさせる。 ②奉仕活動や清美活動に積極的に参加する態度を養い、勤労の心を育てる。
2 学習意欲を高め、基礎学力の定着を図る。	③基礎的・基本的内容を重視した教科指導の充実を図り、基礎学力の向上・定着に努める。習熟度別少人数授業，ティーム・ティーチング等を積極的に取り入れ，さらに言語活動の充実を図り，生徒の思考力・判断力・表現力を育てる。 ④生徒の実態に応じた指導内容の検討や副教材を精選し，生徒の学習意欲を引き出す。 ⑤大洗検定の充実を図り，一般常識及び基礎学力を定着させる。
3 生徒一人一人の資質・特性にあったキャリア教育を推進する。	⑥進路室の効果的な利用を促進するとともに「進路だより」を発行し，生徒及び保護者への情報提供に努める。 ⑦早期に進路目標を明確にさせるとともに，生徒一人一人の希望に応じた的確な進路指導の充実を努める。 ⑧個別面談やガイダンスを計画的に実施するとともに，生徒個々の進路目標実現に向けた指導力の向上に努める。
4 特別活動，部活動の充実を図る。	⑨部活動への加入率を高め，主体的に活動できる生徒を育成し，学校生活の活性化を図る。 ⑩生徒会活動や学校行事，ホームルーム活動の充実を図り，社会性や人間性を養う。
5 地域との連携を深め，開かれた学校づくりを推進する。	⑪学校に関する様々な情報を「学校だより」，「学年だより」，ホームページ等により保護者や地域住民に広報し，学校の教育活動への理解を図る。 ⑫広報広聴部が主体となり，学校評議員や地域住民からの意見を聴取し，適切な対応を行い，地域に密着した学校づくりの一層の推進を図る。 ⑬学校行事へ地域住民参加及び地域行事・活動等への教職員，生徒の参加を推進し，地域との連携体制を構築する。
6 学校の実情，生徒の実態に応じた授業の指導体制の構築を図る。	⑭授業の公開や授業研究，教職員研修を積極的に行い，質の高い教育の提供を目指す。また，観点別学習状況の評価について研究をより進める。 ⑮教職員が積極的に学校運営に参加できる体制を構築し，活力ある学校づくりを目指す。